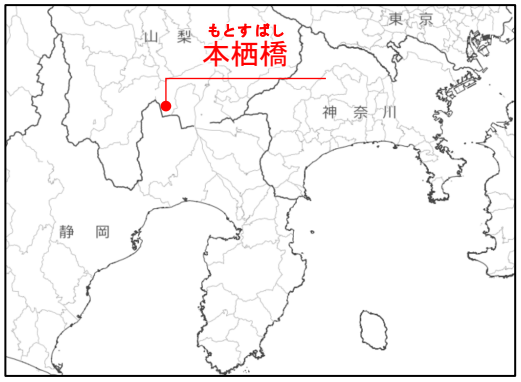
橋梁の耐震強化による緊急輸送道路の機能確保

3か年緊急対策
災害時の効果発揮事例
国土強靱化 NATIONAL RESILIENCE

概　　要：緊急輸送道路に指定されている国道139号の本栖橋（もとすばし）において耐震補強を実施。令和8年6月26日に発生した山梨県東部・富士五湖を震源とする地震において富士河口湖町では最大震度6弱を観測したが、被害もなく交通を確保できた。
対 策 名：140 道路橋・道の駅等の耐震補強に関する緊急対策＜3か年緊急対策＞【国土交通省】

- 実施主体：国土交通省　関東地方整備局 甲府河川国道事務所
- 実施場所：山梨県南都留郡（みなみつる）富士河口湖町（ふじかわぐちこまち）
- 事業概要：国道139号 本栖橋（もとすばし）の耐震補強（変位制限装置の導入等）
- 事業費：70百万円（平成30年度補正予算：令和2年度完成）
- 災害の外力、被害と効果：令和8年6月26日に発生した山梨県東部・富士五湖を震源とする地震において富士河口湖町では最大震度6弱を観測したが、耐震補強を実施した当該施設では損傷等の被害はなく、安全な交通及び緊急輸送道路としての機能を確保することができた。

【広域図】



【位置図】



〈対策前（全景）〉



〈対策後〉

